

日本心理劇学会 研修委員会主催

# 第29回心理劇研修会

～ いろいろな心理劇を体験してみよう ～

- 日 時 令和5年12月16日(土)9:00～11:00(受付8:40～)  
※計2時間の研修
- 会 場 上智大学 四谷キャンパス4号館 403,404,405教室  
(所在地:〒102-8554東京都千代田区紀尾井町7-1)  
アクセス JR中央線、東京メトロ丸ノ内線・南北線  
/ 四ツ谷駅 麴町口・赤坂口から徒歩3分)
- 研修1) 「**主役中心のドラマを楽しむ**」  
講師 藤堂 信枝 先生 (白峰クリニック)
- 研修2) 「**ロール・プレイングにふれてみよう**」  
講師 時田 学 先生  
(日本大学大学院総合社会情報研究科・同大学商学部)
- 研修3) 「**関係を育てる**」  
講師 小里 國恵 先生 (日本心理劇協会)
- 参加費 会員2000円、非会員3000円、学生1000円(当日払い)  
恐れ入りますが、お釣りがいらぬようにご用意いただけましたら幸いです。  
※日本心理劇学会第29回大会参加費とは別であることにご注意ください。
- 申込方法 各研修コースとも定員15名です。原則、先着順で調整いたします。  
下記の いずれかの方法にてお申込みください。(締切12月8日(金))  
当日キャンセルはご遠慮ください。

① 日本心理劇学会ホームページ「研修会」申込フォームからご入力ください。

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdlvHpn1hx3gzKvq3ywxzaA2-1idFrNQW2sGABmF-e7GNmQUg/viewform?usp=sf\\_link](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdlvHpn1hx3gzKvq3ywxzaA2-1idFrNQW2sGABmF-e7GNmQUg/viewform?usp=sf_link)

② QRコードからの入力も可能です。 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒



## 【注意事項】

- ◆ 参加者による録音・録画等はお断りします。  
研修記録は研修委員会の責任において録音(録画)し保管させていただきます。
- ◆ 研修会全課程参加者には、研修修了証を発行します。
- ◆ 日本心理劇学会員方は、認定ディレクター資格申請のための体験ポイント(2ポイント)となります。
- ◆ 当日の連絡先は参加申込後にお送りします。

<問い合わせ先> 日本心理劇学会 研修委員会

E-mail: [sinrigeki.kensyuu@gmail.com](mailto:sinrigeki.kensyuu@gmail.com)

## 講師 藤堂 信枝 先生（白峰クリニック）

### 「主役中心のドラマを楽しむ」

ご存知のようにサイコドラマは即興劇を用いた集団精神療法です。セッションでは参加するメンバー同士、言葉や動きを伴う交流を通してお互いを知り合い、心を表す場としてのグループを作っていきます。そして生み出された主役の事柄を、メンバーの力を借りながら舞台の上に表示していきます。舞台上で配置される人やものは全て、大切な意味が含まれています。

主役中心のサイコドラマでは、主役の思い浮かべた事柄を場面として舞台上に表していくことから始まり、心の中を潜水していきます。主役が今、この場面で感じていること、気づいてはいなくても表してはいないこと、そして気づいていないけれど心の奥底で感じていること、と徐々に徐々に主役の心に触れていきます。そしてそれは、ドラマを見ている観客、一緒に演じている補助自我のメンバーの心にも響き合います。サイコドラマを通して様々な役割を演じると、自分や他者をよく知り、ありのままの自分を受け止め、自分らしくいられるように思います。

この研修では、こうした主役中心のサイコドラマを参加者の皆さんと共に作り、味わっていきたいと思います。

## 講師 時田 学 先生（日本大学大学院総合社会情報研究科・同大学商学部）

### 「ロール・プレイングにふれてみよう」

今回の研修会に参加される皆様は、ロール・プレイングと聞いてどのようなことをイメージされるのでしょうか？例えば高良（2013）は、ロール・プレイングを1個1個の「煉瓦」と捉え、心理劇を「煉瓦の家」に例えていると表現されており、その表現に共感される方も多くいらっしゃるかと考えております。しかしその一方で、ロール・プレイングはよくわからないし、そのイメージも捉えにくいと考える方も、また多数いらっしゃるのではないかと考えております。実際に、私たちが日常の中で役割（ロール）を行っている時点では、あまりそれらの役割について、深く考えたり、感じたりしている時間は多くは無いといえるのではないのでしょうか。私たちが、ロール・プレイングの体験を通して、自分自身や相手について、考え・感じることの切っ掛けとなる可能性を考えていくこと。そのような体験を端緒として、私たち自身や相手について、理解していないこと、理解していることを少しずつ明らかにしていくことが、可能になっていくのではないかと考えております。今回短い時間ではありますが、ロール・プレイングを体験していただければ幸甚に存じます。

## 講師 小里 國恵 先生（日本心理劇協会）

### 「関係を育てる」

コロナ禍においては、生命を守るため様々な制限を経験しました。人間関係においては、人と人との距離を取る、マスクで鼻口を覆う、会話や歌を控える、集合しない、など。そのような制限のある状況においても、心理劇を体験しようとする試みが報告されています。心理劇の可能性を広げる試みでもあると思います。

この研修会では「制限のある状況」でも、いかにして人間関係を育てるか？をキーワードにすすめたいと思います。コロナに限らず、社会的、物理的、人的制限のある状況が生じた時、情緒や認識や行為による関わり方によって状況はどう動いていくのでしょうか。

どのような状況においても「今、生じている関係をとらえ、新しい関係を育てる」ことをめざして、参加者の皆さんと心理劇を創っていきたいと思います。

### <研修参考図書> ※各研修共通

#### 『心理劇入門 理論と実践から学ぶ』

日本心理劇学会監修  
土屋明美・茨木博子・吉川晴美 編著  
慶應義塾大学出版会 定価 2400円＋税

